

# 特集 5

## 安心して乳癌治療を受けるために — 乳癌治療におけるサポータティブケアと shared decision making (SDM) —



たむら のぶこ  
**田村 宜子**

虎の門病院 乳腺・内分泌外科 医長

### 要旨

治療を理解すれば、患者が治療方針を選択できる、というわけではない。治療のメリットだけでなく、短期的・長期的な副作用を理解し、患者自身が納得のいく治療を選択していくために、私たち医療者による十分な情報提供のもと、SDMを行っていく必要がある。特に、乳癌患者の妊孕性温存、アピアランスケアとしての頭皮冷却療法、乳房再建など、患者の価値観によって大きく重要度合いが変わるものを選択するかどうかについては、より十分なSDMが必要とされる。標準治療を発展させていく、そして精巧な診療ガイドラインを作成していくことは医学の発展において重要であるが、患者にとってはまだ十分ではない。患者に情報を分かりやすく説明し、共に納得のいく治療方針を選択していくための医療従事者のコミュニケーションスキルが、患者にとって今後より重要で価値のあるものになっていくと考えている。

### キーワード

妊孕性温存, アピアランスケア, 頭皮冷却療法, 乳房再建, shared decision making (SDM)

語句解説

対 特集  
談 1

特集  
2

特集  
3

特集  
4

特集  
5

ホット・  
World News

最新  
トピックス

THE  
FOCUS

徒然なる  
ままたに。